

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 東  
 コード番号 7647 URL <http://www.ontsu.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦  
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,192	△8.2	65	△45.3	53	△48.8	25	△61.7
29年3月期第1四半期	4,567	3.3	120	66.0	105	90.1	65	271.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 25百万円(△62.5%) 29年3月期第1四半期 67百万円(258.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第1四半期	0	13	0	13
29年3月期第1四半期	0	34	0	33

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,692		3,388		30.5	
29年3月期	11,033		3,386		29.6	

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,265百万円 29年3月期 3,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	ー	0.12	ー	0.12	0.24	
30年3月期	ー					
30年3月期(予想)		0.12	ー	0.12	0.24	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,728	△2.0	160	△23.6	130	△26.5	50	△42.6	0	26
通期	17,705	0.2	400	1.3	360	6.7	160	12.9	0	82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	195,261,645株	29年3月期	195,261,645株
30年3月期1Q	1,353株	29年3月期	1,353株
30年3月期1Q	195,260,292株	29年3月期1Q	193,902,979株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか個人消費は緩やかに持ち直すなど、引き続き緩やかな回復基調が続いております。

当社グループは、総合100円ショップを運営する食料品・生活雑貨小売事業、業務用カラオケ機器の賃貸・販売を行なうカラオケ関係事業及びスポーツクラブを運営するスポーツ事業を中心に事業運営を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は4,192,171千円（前年同四半期比8.2%減）、営業利益は65,808千円（前年同四半期比45.3%減）、経常利益は53,936千円（前年同四半期比48.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25,184千円（前年同四半期比61.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①食料品・生活雑貨小売事業

当セグメントは、「FLET'S」及び「百圓領事館」等の総合100円ショップならびに食品スーパー「Fマート」を運営しております。

当第1四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の4店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成29年4月21日	FLET'S GETO 萱島店	大阪府寝屋川市
平成29年6月8日	FLET'S アプロ松原店	大阪府松原市
平成29年6月9日	FLET'S ゆめマート坪井店	熊本市中央区
平成29年6月23日	FLET'S アコレ八広店	東京都墨田区

一方で、賃貸契約満了のため平成29年6月にFLET'S 千里セルシー店が閉店いたしました。

当第1四半期連結会計期間末日現在、「FLET'S」「百圓領事館」等の100円ショップ直営店舗145店舗、同FC店舗6店舗、食品スーパー「F MART」直営店舗4店舗の合計155店舗を運営しております。

既存店舗におきましては、中・大型店を中心に、リニューアル工事や売場のレイアウト変更などを積極的に実施することで、お客様により一層ご利用いただきやすい店舗作りを進めてまいりました。

前連結会計年度に業績不振店舗を閉店するとともに、当第1四半期連結会計期間におきましては新規出店ならびに既存店のリニューアル工事を進めたものの、既存店のリニューアル工事期間の減収や、リニューアル工事費用などの経費が増加したことにより、売上高は3,283,973千円（前年同四半期比6.4%減）、セグメント利益（営業利益）は276千円（前年同四半期比99.5%減）となりました。

## ②カラオケ関係事業

当セグメントでは、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸ならびに卸売事業を行なっております。

カラオケ業界においては、ナイト市場の漸減傾向が依然として続いているものの、カラオケボックス市場においては増加傾向であり、業者間における激しい競争が続いております。

当社の取り扱う業務用カラオケ機器等は、業務用カラオケメーカー2社より商品の供給を受けており、カラオケ機器の導入提案のみならず、カラオケ店出店候補物件の紹介や内装提案などまでも手がけることにより、得意先に対するワンストップサービスの実現を目指しております。そのため、不動産事業者、ビルオーナー並びにビル管理会社などに対する営業の強化にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は550,520千円（前年同四半期比24.4%減）、セグメント利益（営業利益）は21,802千円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

## ③スポーツ事業

当セグメントは、スポーツクラブ「JOYFIT」および、ホットヨガスタジオ「LAVA」を運営しております。

当第1四半期連結会計期間末日現在、スポーツクラブ「JOYFIT」を3店舗、24時間型フィットネス・ジム「JOYFIT24」を7店舗、ホットヨガスタジオ「LAVA」を1店舗運営しております。

なお、当連結会計年度におきましては3店舗の新規出店を計画しており、JOYFIT24 茨木真砂（大阪府茨木市）を平成29年7月にオープンし、JOYFIT24 靱公園（大阪市西区）のオープン準備も進めております。

この結果、売上高は244,884千円（前年同四半期比20.9%増）、セグメント利益（営業利益）は64,469千円（前年同四半期比39.7%増）と好調に推移いたしました。

#### ④ I P 事業

当セグメントは、店舗及び住宅の賃貸ならびにコインパーキング「T. O. P. 24h」の運営をしております。

当第1四半期連結累計期間における賃貸店舗、賃貸住宅、ならびにコインパーキング「T. O. P. 24h」の新規出店店舗はありません。

コインパーキング事業におきましては、当第1四半期連結会計期間末日現在、大阪府、兵庫県、京都府におきまして59ヵ所595車室のコインパーキングを運営しております。

近隣の競合状況や利用実績などを細かく分析してきめ細かな運営をすることにより、安定した運営が続いておりますが、一方で、営業力強化のため人件費が増加した結果、売上高は112,792千円（前年同四半期比10.9%減）、セグメント損失（営業損失）は75千円（前年同四半期は2,081千円の利益）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は10,692,467千円（前連結会計年度末比340,533千円の減少）となりました。

流動資産は4,497,617千円（前連結会計年度末比277,212千円減少）となりましたが、これは、主として、商品及び製品が57,155千円増加したものの、現金及び預金が284,524千円、受取手形及び売掛金が47,432千円減少したことなどによります。

また、固定資産は6,180,577千円（前連結会計年度末比62,008千円の減少）となりましたが、これは、主として賃貸資産（純額）が26,716千円、のれんが21,133千円、建設協力金が15,930千円減少したことなどによります。

#### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は7,303,735千円（前連結会計年度末比342,283千円の減少）となりました。

流動負債は3,561,103千円（前連結会計年度末比14,351千円の減少）となりましたが、これは、主として、支払手形及び買掛金が96,659千円、未払金が18,545千円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が95,060千円、預り金が51,075千円減少したことなどによります。

また、固定負債は3,742,631千円（前連結会計年度末比327,931千円の減少）となりましたが、これは、主として長期借入金が254,564千円、社債が65,000千円減少したことなどによります。

#### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,388,732千円（前連結会計年度末比1,749千円の増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上で25,184千円増加する一方、配当金の支払で23,431千円減少した結果、1,753千円増加したことなどによります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期（累計）及び通期における連結業績予想は、平成29年5月10日に公表しました「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,111,830	1,827,306
受取手形及び売掛金	483,137	435,704
商品及び製品	1,825,383	1,882,539
原材料及び貯蔵品	1,755	1,841
前渡金	15,351	2,241
前払費用	178,589	210,779
繰延税金資産	22,021	24,726
預け金	92,931	87,345
その他	50,193	30,885
貸倒引当金	△6,366	△5,752
流動資産合計	4,774,829	4,497,617
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産(純額)	1,503,293	1,476,576
建物及び構築物(純額)	1,357,334	1,348,746
土地	881,217	881,217
その他(純額)	572,609	587,865
有形固定資産合計	4,314,454	4,294,405
無形固定資産		
のれん	234,759	213,625
その他	29,058	27,054
無形固定資産合計	263,817	240,680
投資その他の資産		
投資有価証券	63,525	63,862
建設協力金	370,497	354,567
差入保証金	1,014,260	1,008,028
繰延税金資産	84,159	78,851
その他	145,933	154,213
貸倒引当金	△14,061	△14,031
投資その他の資産合計	1,664,314	1,645,491
固定資産合計	6,242,586	6,180,577
繰延資産	15,585	14,273
資産合計	11,033,001	10,692,467

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,399,797	1,496,456
1年内返済予定の長期借入金	1,331,251	1,236,191
1年内償還予定の社債	130,000	130,000
未払金	187,184	205,729
1年内支払予定の長期割賦未払金	292,390	292,793
未払法人税等	44,897	54,059
資産除去債務	7,043	5,851
預り金	69,069	17,994
その他	113,821	122,027
流動負債合計	3,575,454	3,561,103
固定負債		
社債	1,025,000	960,000
長期借入金	2,120,756	1,866,191
長期割賦未払金	427,618	414,542
役員退職慰労引当金	131,598	136,773
退職給付に係る負債	111,591	112,773
資産除去債務	79,309	79,682
その他	174,688	172,668
固定負債合計	4,070,563	3,742,631
負債合計	7,646,018	7,303,735
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,583,203	1,583,203
資本剰余金	1,088,302	1,088,302
利益剰余金	592,773	594,526
自己株式	△52	△52
株主資本合計	3,264,227	3,265,980
新株予約権	113,100	112,847
非支配株主持分	9,655	9,904
純資産合計	3,386,982	3,388,732
負債純資産合計	11,033,001	10,692,467

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,567,488	4,192,171
売上原価	3,062,510	2,737,055
売上総利益	1,504,977	1,455,115
販売費及び一般管理費	1,384,635	1,389,306
営業利益	120,342	65,808
営業外収益		
受取利息	3,120	2,579
受取配当金	640	640
持分法による投資利益	—	337
消費税差額	1,819	—
その他	793	1,972
営業外収益合計	6,373	5,529
営業外費用		
支払利息	12,817	9,846
支払保証料	1,325	1,059
持分法による投資損失	60	—
社債発行費償却	1,542	1,134
その他	5,587	5,361
営業外費用合計	21,334	17,401
経常利益	105,381	53,936
特別利益		
負ののれん発生益	4,176	—
新株予約権戻入益	53	252
特別利益合計	4,229	252
特別損失		
固定資産除却損	300	377
店舗閉鎖損失	111	752
段階取得に係る差損	5,389	—
特別損失合計	5,801	1,129
税金等調整前四半期純利益	103,809	53,059
法人税、住民税及び事業税	34,984	25,023
法人税等調整額	1,001	2,602
法人税等合計	35,986	27,626
四半期純利益	67,822	25,433
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,123	249
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,699	25,184

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	67,822	25,433
四半期包括利益	67,822	25,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,699	25,184
非支配株主に係る四半期包括利益	2,123	249

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	3,510,015	728,325	202,555	126,592	4,567,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,283	245	—	15,881	24,411
計	3,518,299	728,571	202,555	142,473	4,591,899
セグメント利益	58,044	34,916	46,162	2,081	141,205

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	141,205
セグメント間取引消去	8,256
全社費用(注)	△29,119
四半期連結損益計算書の営業利益	120,342

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「食料品・生活雑貨小売事業」セグメントにおいて、平成28年4月1日付けで株式の追加取得をしたジーン株式会社を追加しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては4,176千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	3,283,973	550,520	244,884	112,792	4,192,171
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	44,139	—	13,959	58,116
計	3,283,990	594,660	244,884	126,751	4,250,287
セグメント利益又は損失(△)	276	21,802	64,469	△75	86,472

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	86,472
セグメント間取引消去	7,223
全社費用(注)	△27,888
四半期連結損益計算書の営業利益	65,808

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (重要な後発事象)

当社は、平成29年8月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

経済情勢の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上により、株主利益の向上を図るため。

## 2. 取得の内容

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式                                    |
| (2) 取得する株式の総数 | 500万株(上限)<br>発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.56% |
| (3) 株式取得価額の総額 | 200,000千円(上限)                             |
| (4) 取得する期間    | 平成29年8月14日～平成29年9月29日                     |
| (5) 取得の方法     | 東京証券取引所における市場買付                           |